



次期計画の方向性

現計画の内容を踏まえ、SDGs未来都市として、北海道価値を活かした広域的なSDGsの展開を具体化

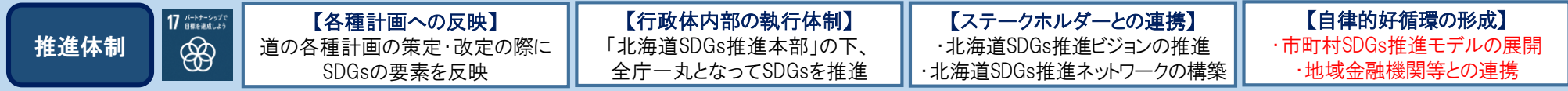
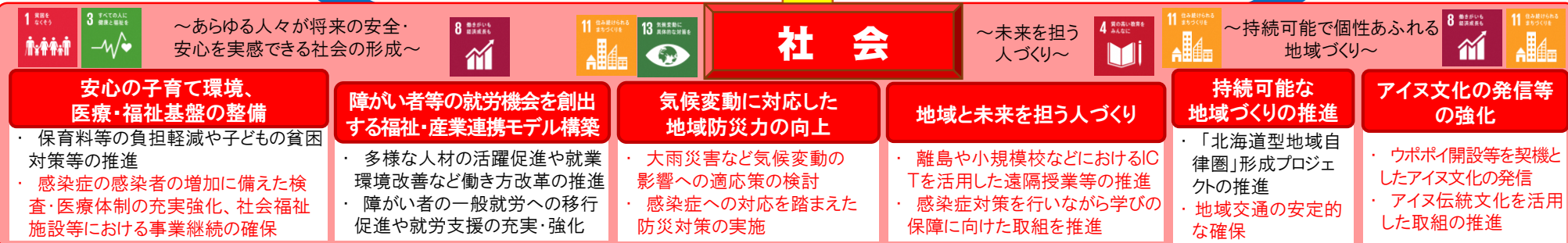
計画期間

2021(令和3)年度～2023(令和5)年度

現計画からの主な変更点

- ・現計画策定後の経済社会情勢の変化など(新型コロナウイルス感染症、カーボンニュートラルなど) 直近の課題への対応を反映
- ・国のフォーマット変更に対応し、自律的好循環の形成、地域創生・地域活性化への貢献などの記載を追加

SDGsの推進に資する取組



地域創生・地域活性化への貢献

2030年のあるべき姿「世界の中で輝きつづける北海道」の実現に向け、本計画等に基づく取組を推進するとともに、多様な主体や全道での取組の裾野の拡大を図り、SDGs未来都市として、SDGsの達成及び地域創生・地域活性化を推進